

JR 連合グループ労組連絡会 第 33 回総会を開催

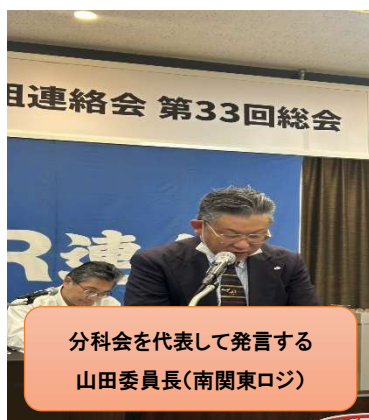


JR 連合上村会長

8月22日(金)、大阪市内においてJR連合グループ労組連絡会第33回総会が開催され、JR貨物連合より3名が出席しました。

会の冒頭、幹事会を代表し挨拶に立った奥村代表幹事は「人手不足、労災、賃金格差」について触れられ、JR連合を代表し挨拶に立った上村会長は「一年

の活動を振り返ると共に、分科会討議の中で産業別政策課題の抽出にご協力頂きたい」と述べられました。



分科会を代表して発言する
山田委員長(南関東ロジ)

幹事会より、これまでの活動経過・春闘結果等を報告後、今後の活動方針を提起したのち、9つの分科会に分かれ分科会討議を行いました。討議では、産業別政策課題について議論を交わし、「安全対策」「人手不足」「賃金」など多くの課題が出され、多くの分科会より委託費の値上げ(価格転嫁)について意見が出され、鉄道運賃値上げについての要請が多くありました。



奥村代表幹事



議事では、今後の活動方針(案)が満場一致で承認され、役員改選では、海上弓彦氏(JR西日本連合・ジェイアル西日本伊勢丹労組出身)を新たに代表幹事に選出し、最後に海上新代表幹事による力強い「団結ガンバロー」で会を締めくくりました。



海上新代表幹事